令和8年
11月14日(土)
11月15日(日)

とちぎ秋まつり

よみがえる江戸の粋

人形山車

栃木県栃木市

とちぎ蔵の街大通り

本まつり・こども山車まつり



見どころ 其の1 江戸型人形山車

江戸末期から明治の美術工芸の粋を集めた絢爛豪華な栃木の江戸型人形山車。金糸銀糸を用いて花や鳥や龍や鳳凰など山車ごとに異なる特色ある美しい刺繍が施された幕は必見です。



見どころ 其の2 夜の山車まつり

日が落ちると、数百個もの提灯の灯りに照らし出された山車とお囃子が織りなす幻想的な世界へ。闇夜に浮かび上がるその麗しい姿は息をのむ美しさです。



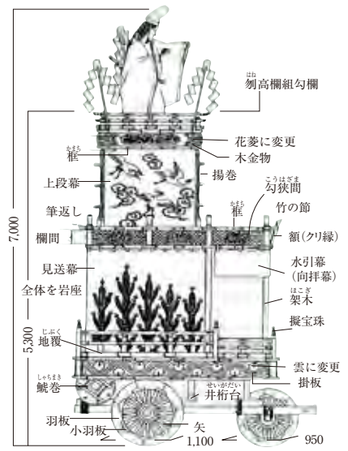
見どころ 其の3 「ぶっつけ」

山車とお囃子の競演

複数の山車が向かい合いお囃子を競い合う「ぶっつけ」は祭り一番の見どころ。頭の合図で始まると、提灯や扇子を振りかざして熱く盛り上がり、調子がズレた山車が道を譲るのが古くからの習わしです。

枠仕立形式山車

山車各部名称
（倭町三丁目所有山車）



江戸型山車の形式

江戸型人形山車は、上下可動式の三層構造となっています。最上部に人形、次に上段幕に囲まれた枠、そして一番下が見送り幕で囲まれた枠です。

これは山王祭などで将軍上覧の際、山車の高さよりも低い江戸城の城門をくぐるため、上下にスライドさせて山車の高さを調整する必要があったからです。

本来、江戸型人形山車は牛に曳かせる二輪の台車構造でしたが、現在ではその多くが人が曳く四輪の台車となっています。

また、江戸型人形山車の特徴である人形は、主に古事記や日本書紀に登場する神々や英雄、民俗信仰や伝説にちなんだもの、中国の英雄、豪傑を模したものなど、多彩な顔ぶれとなっています。

とちぎ秋まつり アンケートにご協力ください。

実施期間 R8.11/14(土)・15(日)

とちぎ秋まつりがより楽しめるイベントとして未来につながるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

アンケートは右記QRコードから→

市民協賛のお願い

※詳しくは下記QRコードからご確認ください。

市民挙げての祭りとして多くの皆様に支えていただくため、下記のとおり協賛金を募っております。いただいた協賛金は、とちぎ秋まつりの運営に使用いたします。

受付場所：まつり案内所（栃木市観光協会）
協賛金額：一口1,000円から
特　　典：希望者には〝とちぎ秋まつり特製木札〟または〝特製ハンカチ〟を一口当たり1枚差し上げます。

とちぎ秋まつり 当日の様子を配信！

facebook　Instagram
FMぐらら857　ロコテレ

「ぶっつけ」をご覧になるときの注意点

危険ですのでぶっつけの中には絶対に入らないでください。山車のまわりでご観覧いただきますよう、お願いいたします。

ドローン使用禁止

ドローン等の小型無人機の使用はお控えください。

カメラなどで撮影の際は、周囲への配慮を

秋まつり期間中は多くの人が行き交いますので、周囲に配慮しながら撮影をしてください。また、カメラバッグなどが人にぶつからないように注意してください。

● 主催／令和8年とちぎ秋まつり実行委員会
● 共催／栃木市、栃木商工会議所、一般社団法人栃木市観光協会、栃木市商店会連合会、とちぎの山車祭り伝承会
● 後援／東日本旅客鉄道株式会社 栃木事業本部、東武鉄道株式会社、関東自動車株式会社、ケーブルテレビ栃木、FMぐらら 857、NHK宇都宮放送局、株式会社とちぎテレビ、㈱栃木放送、株式会社エフエム栃木、株式会社下野新聞社、朝日新聞 宇都宮総局、毎日新聞 宇都宮支局、読売新聞 宇都宮支局、東京新聞 宇都宮支局、産経新聞社 宇都宮支局、日本経済新聞社 宇都宮支局
● 協賛／栃木県信用保証協会　● 協力／イオン栃木店

アクセス

東武
- 浅草 ― 特急 約65分
- 日光 ― 特急 約40分
- 宇都宮 ― 東武宇都宮線 約40分

JR
- 東京 ― 新幹線 約40分
- 宇都宮 ― 宇都宮線 約30分

車
- 東北自動車道 栃木IC ― 車 約10分 ― P ― シャトルバス 約15分

東武・JR → 栃木 → 徒歩 約15分 → とちぎ秋まつり会場
車 → 小山 → 両毛線 約10分 → 栃木

令和8年とちぎ秋まつり実行委員会事務局　Tel:0282-21-2374（栃木市観光振興課内・平日のみ）
（一社）栃木市観光協会 とちぎの山車祭り伝承会　Tel:0282-25-2356
栃木市HP